

男女共同参画社会をめざして

かがやく

Vol.6

— あなたも、わたしも —

特集 政策・意思決定の場の男女共同参画

連載 かがやく個性たち



我孫子市

	議員総数	女性議員総数	女性議員割合
都道府県議会	2,827人	165人	5.8%
市議会	18,331人	1,976人	10.8%
町村議会	38,694人	1,901人	4.9%
我孫子市議会	30人	11人	36.7%

※平成15年度男女共同参画白書ほか


政策・意思決定の場


今日は、家庭・地域・職場などあらゆる場で、女性の意見が十分生かされているかどうかを考えてみました。

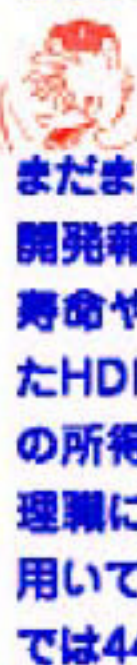
少子高齢社会になって、女性の進出はめざましいものがありますが、全体の数に比べて政策・意思決定の場にいる女性はまだ少ないのです。


表1 地方議会における女性議員の割合


 我孫子市は「男女共同参画都市」を宣言して、家庭・地域・職場で男女が参画する社会をめざしているのね。意思決定の場への女性の参画は進んでいるの？


 いろいろあるけど、市民の代表である市議会議員を見てみよう。我孫子市では、平成15年11月の市議会議員選挙で30人の定数のうち女性議員が11人(36.7%・3人増)となった。これは全国でもトップクラスの割合なんだよ。(表1参照)

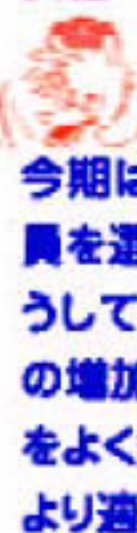
 千葉県議会が8.1%、衆議院が7.1%、参議院が14.6%と比べると、我孫子市議会の女性議員が多いのがわかるけど、でも男女の割合(1対1)に比べると多いとはいえないね。


 国会議員も増えてきたけど(図1)、国際的にみるとまだまだだ。表2をみてごらん。これは国連開発計画「人間開発報告書」(2002年版)から作成した表だよ。日本は平均寿命や教育水準、調整済み1人当たり国民所得を基に算出したHDI(人間開発指数)では上位50カ国の9位だけど、女性の所得、専門職・技術職における女性割合、上級行政職・管理職に占める女性の割合、国会議員に占める女性の割合を用いて算出されるGEM(ジェンダーエンパワーメント指数)では44位なんだ。

 つまり、日本は基本的な生活水準や教育水準は世界でもトップクラスなのに、積極的に経済や政治の場で活躍している女性が少ないということかなあ？

 そうだね。日本の女性も能力はあるんだから、政治にも積極的にどんどん進出してほしいね。

 我孫子市は審議会や懇談会等の委員に女性が占める割合も35.5%と、計画の目標を早期に達成して、これからは40%だね。でも数字だけじゃなくて、審議会や懇談会に女性が入ることによって変わったことってあるのかな？

 あるとも。たとえば「福祉総合計画推進協議会」は、今期は27人のうち女性が11人だ。いままでは審議会の委員を選ぶとき、関係団体の長などをお願いしていたので、どうしても男性が多かったんだ。それがようやく女性の委員の増加で、男女の意見が生かされ、介護や子育てなど現場をよく知っている人たちの意見を取り入れた実効性のある、より適切な施策ができるようになったんだよ。

 男性と女性と能力に差があるわけじゃないと思う。だから女性も機会があれば自分の意見をいえるし、社会もそれを受け入れる“文化”が大切なんじゃないかな。



オレにも書わせる!

おやじ

「女は仕事や社会に口を出すな」

参画マン

「女は自分では決定しない、男の決定に従うものだというのが伝統というなら、それは、社会的性差別です。」

おやじ

男にも、女にも、人間として自己決定権があります。また、社会の構成員の一員として、自分たちの暮らす社会についても決定する参画権があるのです」

参画マン

「そーいった仕事は男に向いているんであつて、女には向いてないんだ」

おやじ

「性別自体による能力の差があるのでしょうか？ 政治や経営の「能力」に性差があるのでしょうか？ 家事、育児等の伝統的役割分担による規制や「こうあるものだ」という思いこみに制約されているのではないのでしょうか？」

参画マン

「性別自体による能力の差があるのでしょうか？ 政治や経営の「能力」に性差があるのでしょうか？ 家事、育児等の伝統的役割分担による規制や「こうあるものだ」という思いこみに制約されているのではないのでしょうか？」

おやじ

「だからといって、女性議員や行政の委員等に占める女性の割合の目標を決めるんなら大きなお世話だ。男の仕事を奪うのか」

参画マン

「目標の設定は、格差のある状態の解消を促進するための『ポジティブアクション』です」

おやじ

「タカサキ山のボス猿だってオスなんだ」

参画マン

「ヒトとの比較に適当な例かどうかわかりませんが……研究者の間では、オス猿の筆頭者にはえさの優先権はあるものの、群れを率いる役割を持っていないという説もあり、ボス猿という呼び名を廃止するという話もあるそうですけど」

おやじ

「タカサキ山のボス猿だってオスなんだ」

参画マン

「ヒトとの比較に適当な例かどうかわかりませんが……研究者の間では、オス猿の筆頭者にはえさの優先権はあるものの、群れを率いる役割を持っていないという説もあり、ボス猿という呼び名を廃止するという話もあるそうですけど」

参画マン

「ヒトとの比較に適当な例かどうかわかりませんが……研究者の間では、オス猿の筆頭者にはえさの優先権はあるものの、群れを率いる役割を持っていないという説もあり、ボス猿という呼び名を廃止するという話もあるそうですけど」

※男女間の差別による格差を改善するための積極的は正措置

の場に もっと女性を!



「行政改革推進市民委員会」は、固い印象があるけど、前期の委員長は女性だった。今は12人のうち女性は4人、33.3%だね。ここでも特に女性が入ったことを意識することなく、自然に委員として活躍している。



女性だから男性だからということではないのね。



地域の活動をやってきた経験や、生活するうえで市とかかわりのある方たちが多いね。市役所での待ち時間が長い、市役所がこんなふうになってほしい、と考えるのに男女で差はないと思う。市民の目から行政を見ることができると、市の担当は喜んでくれるよ。行革への意識や意見には男女の差はないけど、ただ女性がいたからこそ、「行政改革に関する提言書」に「女性の活用」や「女性職員の登用や採用」についてもきちんと盛り込まれたんじゃないかな。



そうね。女性の活用は必要と思っても、男性だけではあらためて取りあげないかもしれないね。



市の施策ではないけどわたしたちに身近なことで、PTAの会長はほとんど男性だね。(表3)



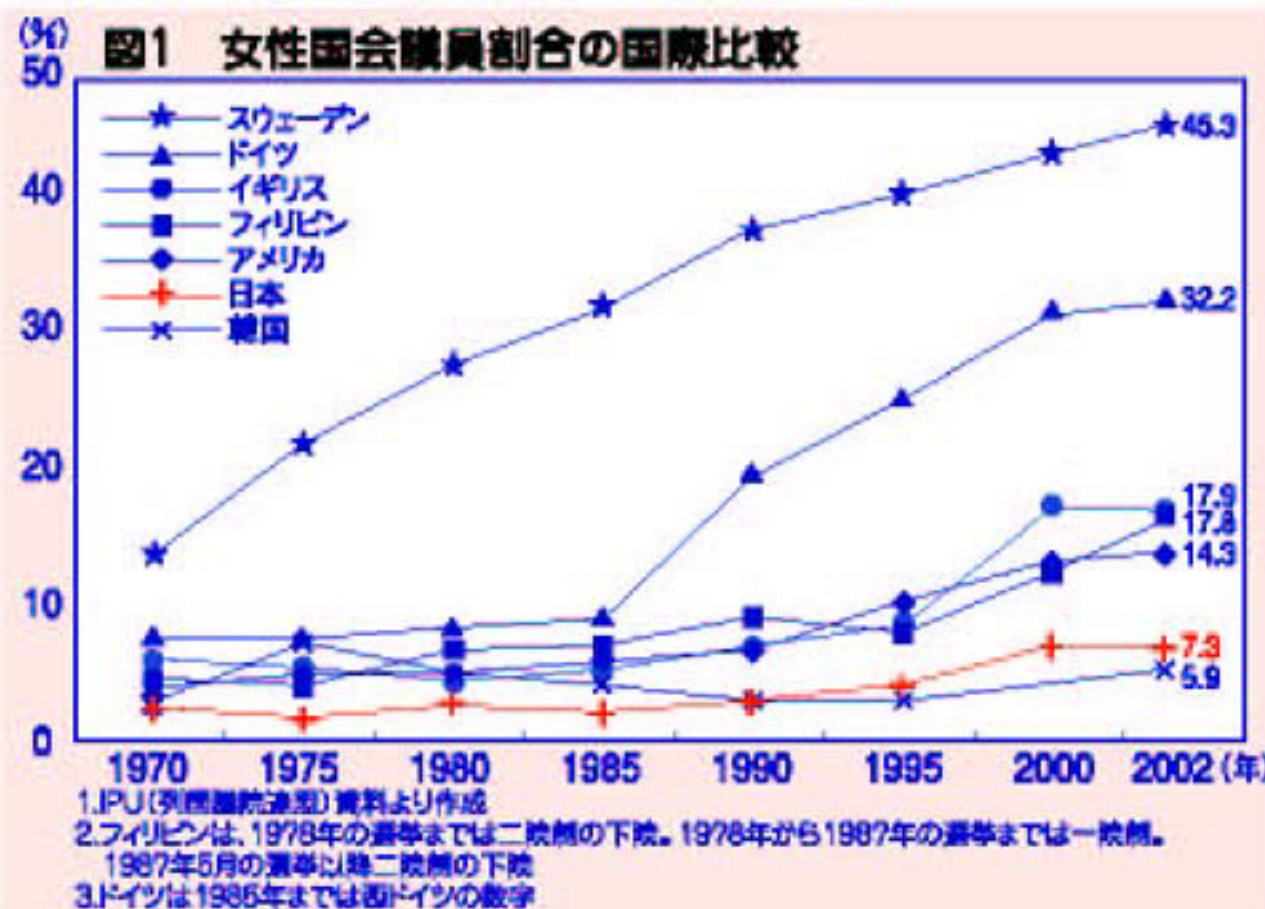
実際に活動しているのはお母さんたちが多いのに、PTAの会長となるとお父さんになるのはどうしてかなあ。



女性が会長になるのを女性が嫌がるということもある。男性のほうがまとまりやすいんだって。外部との付き合いで男性のほうがスムーズなこともあるそう。



ある女性の役員さんは「会長はお飾りで、実務は私たちがやればいいのよね」って言ってたわ。



みんなも知っているように、

我孫子市は市民活動が盛んで、女性のリーダーも大活躍しているし、PTAも実際には女性が多く担っているのだから、会長になる女性が増えればいいね。



いろいろな考え方はあるけれど、女性のパワーを使わないなんてもったいないわ。これからは少子高齢社会といわれて、近い将来にはひとりの高齢者を2人、3人の現役世代が支えることになる。そうなれば男性だけでは支えられない。女性がもっと力を発揮できる場が必要ね。



それには意思決定の場への女性の参画が重要だ。半数の女性の意思と、半数の男性の意思を同じように尊重して、同じように責任を持つ社会が来るように考えていこう。

	PTA数	会長 (人)	
		男	女
平成11年度	16	16	0
平成12年度	16	16	0
平成13年度	16	16	0
平成14年度	16	15	1
平成15年度	16	15	1

表3 PTA会長の推移
(我孫子市立小中学校・全19校)

表2 HDIとGEM・国連「人間開発報告書2002」

(1) HDI (人間開発指数) (2) GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数)

順位	国名	HDI値	順位	国名	HDI値
1	ノルウェー	0.944	1	アイスランド	0.847
2	アイスランド	0.942	2	ノルウェー	0.837
3	スウェーデン	0.941	3	スウェーデン	0.831
4	オーストラリア	0.939	4	デンマーク	0.825
5	オランダ	0.938	5	フィンランド	0.801
6	ベルギー	0.937	8	オランダ	0.794
7	米国	0.937	7	オーストリア	0.782
8	カナダ	0.937	8	ドイツ	0.778
9	日本	0.932	9	カナダ	0.771
10	スイス	0.932	10	米国	0.760
11	デンマーク	0.930	11	オーストラリア	0.754
12	アイルランド	0.930	12	ニュージーランド	0.750
13	英国	0.930	13	スイス	0.720
14	フィンランド	0.930	14	スペイン	0.709
15	ルクセンブルク	0.930	15	ベルギー	0.695
16	オーストリア	0.929	16	アイルランド	0.683
17	フランス	0.925	17	英国	0.675
18	ドイツ	0.921	18	パプアニューギニア	0.671
19	スペイン	0.918	19	コスタリカ	0.670
20	ニュージーランド	0.917	20	バルバドス	0.659
21	イタリア	0.916	21	ポルトガル	0.647
22	イスラエル	0.905	22	トリニダード・トバゴ	0.642
23	ポルトガル	0.896	23	イスラエル	0.612
24	ギリシャ	0.892	24	スロバキア	0.598
25	キプロス	0.891	25	ポーランド	0.594
26	香港(中国)	0.889	26	シンガポール	0.594
27	バルバドス	0.888	27	スロベニア	0.582
28	シンガポール	0.884	28	チェコ	0.579
29	スロベニア	0.881			
30	韓国	0.879	44	日本	0.515

注: (1) HDI順位は、175か国中の順位、(2) GEM順位は、70か国中の順位である

HDI (人間開発指数) … 基本的な人間の能力がどこまで伸びたかを測るもので、平均寿命、教育水準 (成人識字率と就学率)、国民所得を用いて算出する。

GEM (ジェンダー・エンパワーメント指数) … 女性が積極的に経済界や政治生活に参加し、意思決定に参加できるかを測るもの。女性の所得、専門職・技術職に占める女性の割合、行政職・管理職に占める女性の割合、国会議員に占める女性の割合を用いて算出する。

今回は、特集の「政策・意思決定の場への参画」に関連して、ボーイスカウトに女子の参画を進めた中嶋一夫さんと、市になって初めて女性で教育委員長を務めた宇佐美八重子さんに登場していただきました。



中嶋一夫さん
(ボーイスカウト我孫子第1団委員長)

◆ボーイスカウト運動を通じて地域の少年少女の健全育成に携わること35余年、ご苦労、そしてやりがいとは？

伝統ある男の世界、小学高学年からは野営です。そこに女子を受け入れようということになって…。当時、日本連盟のリーダートレーナーをしてましてね。何としても女性指導者の養成、それに、ガールスカウトの理解も得なければと、まあ大変でしたが…。自然ですね、今は。

チャレンジする子どもたちの真剣な眼差し、意欲…。可能性の限界に一步でも近づけたかな、よし、これが自信につながるだろうな、と思えたときですか。

◆仕事・家庭と社会奉仕との両立、そして、印象深いことは？

妻に感謝ですね。地域の奉仕活動の先輩だったんです。でも、職場には、随分我儘をしましたよ。社会人になった時から「親父、ボーイスカウトをつづけて良かったよ、部活だけじゃなくて。」と聞いたときも、嬉しかったですね。

大阪へ越してった手におえない馴れん坊がいてね。そりゃあ手をやきました。それが、何年も経った蔵王での日本ジャンボリーでのこと、何千人もいる野営地で、私を予告なしに訪ねて来るや、「隊長！今でもスカウトです。中嶋さんのおかげです！」なんて、いっちょまえのことを言うんです。まったく、涙が出ましたよ。

◆つづく後輩たちへ、エールを。

常に自信を持って対処してほしい、ということです。すぐに頼られることは、何もなくても…。

宇佐美八重子さん
(我孫子市教育委員)



◆教育委員として9年、市になってからは初めて女性で教育委員長も務められたわけですが？

獣医師だった祖父が進んだ考えを持ってまして、現在93歳になる母を薬剤師にしました。父を早く亡くしましたが、そのことで経済的に困ることはありませんでした。戦後の男女平等教育を受けただけでなく、家庭の中でも性差を意識することなく育ちました。社会では「女だから」という目で見られないようにしています。

教育は人にとって最も重要です。家庭教育はもちろん、学校教育と卒業してからの生きがいづくりも含めた生涯学習の環境づくりが大切ですね。

◆薬局の経営、教育委員、学校薬剤師のお仕事と家庭とのバランスは？

家族の協力が第一なので、仕事の内容を理解してもらうように心がけてきました。自分でしなければならないことと、頼んでもすむことを区別し、全部抱え込まないようにしています。夫は私よりも料理が上手です。

昔、町の選挙管理委員長だった祖父と一緒に仕事をした方から「おいしい様にお世話になりました。」とご挨拶をいただいた時は、嬉しかったですね。

◆後輩へのエールを。

現代は変化の激しい社会です。社会でつまずき、失敗したとしても、再出発できる力を養うことができる家庭をつくってほしいと願っています。

編集後記

▶少しづつ女性も政策・意思決定の場に参画してきていますが、より住みやすい社会を創るために、もっと女性の能力を認め活用することが大事と、あらためて思いました。(K.Y)

▶整形外科の待合室で何気なく公衆電話を眺めると、横に「DV」相談の連絡先を書いたカードを見つけました。(す)

▶我孫子の男女共同参画行政が、今度は衆議院の予算委員会に取り上げられたって、知ってますか？ それなりに前進してるってことですよ。(さとう)

▶3月2日の夕刊によれば「裁判員」制度をつくる法案が閣議で決定したと伝えられています。幅広い市民の参加による司法への理解と信頼を高めるのが狙いでしょう。(貴)

▶市では、女性の参画を進めるために要綱の一部を変更したり、審議会委員の推薦を依頼するときに「女性の候補者はいませんか？」などとお聞きしているそうです。そういう努力があらゆる場での女性の参画を進めるのではないかと思います。(ま)

▶今回女性の意思決定の場への参画を特集して、女性が組織に入ると、雰囲気ソフトになるとか親しみがわくとかの満然としたよさだけでなく、実効性が上がるなどの実際の長所もわかりました。「どうして男女共同参画なの？」という方々にもわかっていただけたらうれしいです。(Y)



学習等の場に 講師を派遣します!!

案内板

自治会、地域グループ、企業等における男女共同参画推進の自主的取り組みを支援するため、学習・研修等に講師を派遣(講師謝礼を我孫子市が負担)します。

限度額:20,000円

対象の学習・研修最少人数:20名

実施時期:平成16年5月から平成17年3月まで

詳細については、男女共同参画担当にお問い合わせください。

発行:我孫子市

発行日:平成16年3月20日 Vol.6

編集:「かがやく」編集委員会

〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地

我孫子市環境生活部 男女共同参画担当

TEL 04-7185-1111

この情報紙は再生紙(古紙配合率100%)を使用しています。